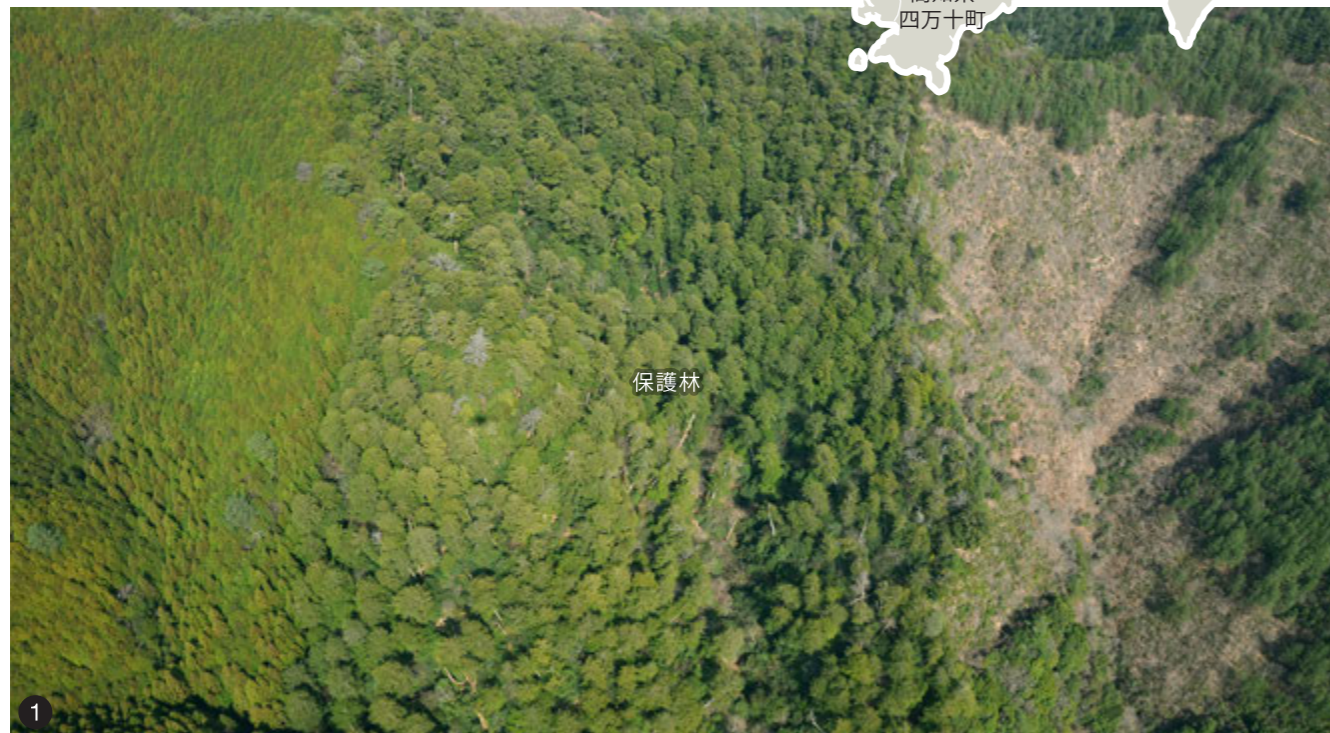


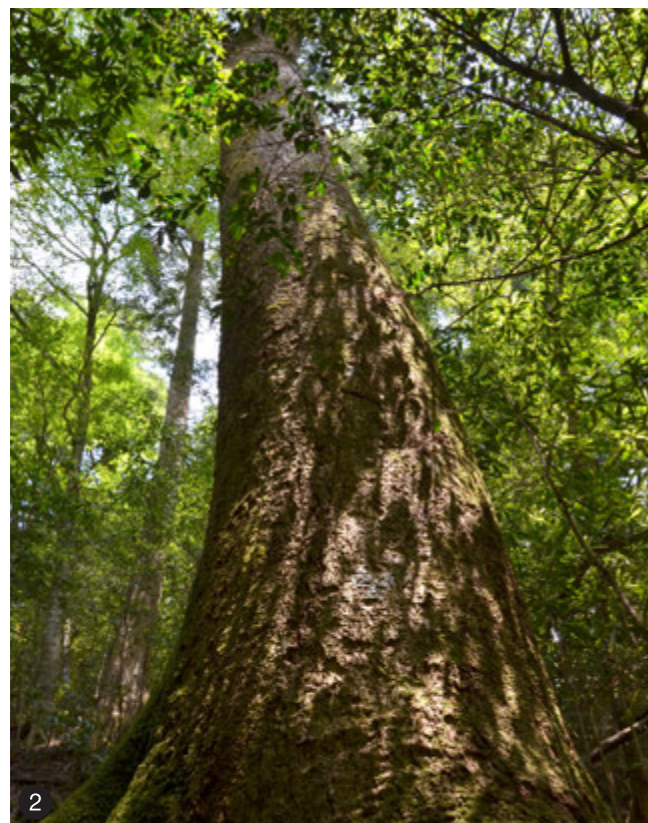
かじ が たに やま
梶ヶ谷山モミ林木遺伝資源保存林

この森は、古屋山保護林と尾根で接しており、
 モミの巨木が林立する様子は、太古の森を想像させられます。
 通常、モミはツガと混じって生え、日陰でも枯れず、
 やがて林冠を形成します。



保護林

1



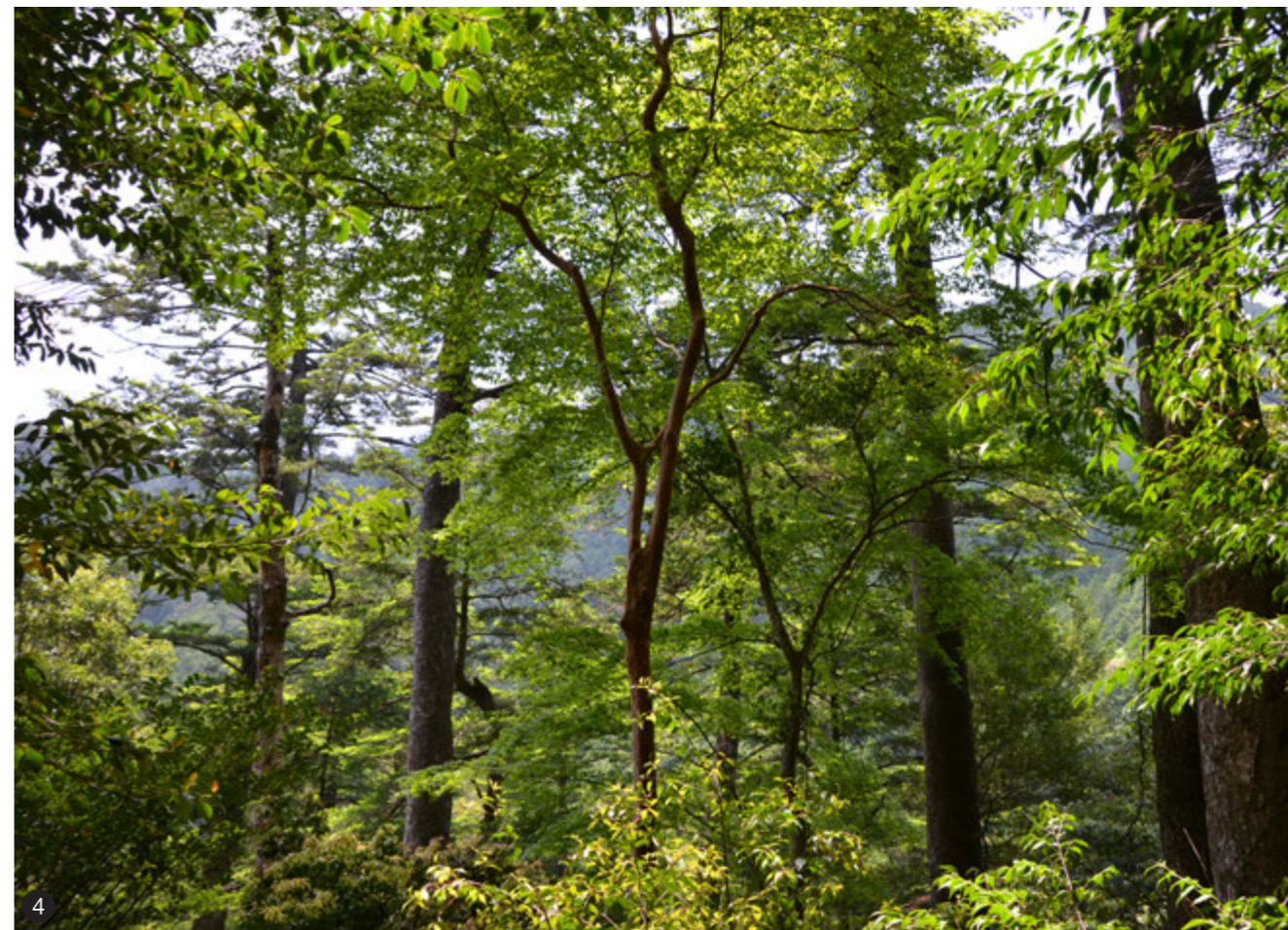
2



3

①上空から見た保護林。面積は約8.5ヘクタールあり、大きなモミは胸高直径119cmの巨木が確認されています。②モミの巨木(通称モミ太郎)。林内にはこのような巨木が多く生育しています。③モミの葉。葉は光沢があり、先が2裂で鋭く尖っています。④保護林内の様子。林内にはモミやツガなどの針葉樹のほか、ウラジロガシ、カゴノキ、ヒメシャラ、アカシデ、カエデ類などの広葉樹も多く生育しています。⑤イタヤカエデ(エンコウカエデ)。カエデの一種で切れ込みが深いのが特徴です。⑥オンツツジの花(5月)。春には綺麗な花を咲かせるため、庭木としても植えられます。⑦ムギラン。木の枝や岩などに着生するラン科植物です。⑧アラゲキクラゲ。枯木や倒木に発生する食用キノコです。

●地図はp.41に掲載しています。



4



5



6



7



8